

社協 おだわら

題字：障がい者の自立のための生活・作業訓練等を行っている
「なぎさ作業所」利用者の皆さん（6人による合作）

社会福祉協議会は、略して「社協（しゃきょう）」と言い、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを進めるために設置されている民間の福祉団体です。

公式 facebook ページ 小田原市社会福祉協議会

No.136

2023年
3月1日発行

小田原市社協イメージキャラクター
「夢・咲き福ちゃん」



小田原の風景・48
「久野 総世寺の桜」



編集発行 小田原市社会福祉協議会広報編集委員会

〒250-0055 小田原市久野115-2

電話 0465(35)4000

ファックス 0465(35)6902

メール odawarashakyoun@ybb.ne.jp

市社協の各種講座 受けて みたら…



市民後見人
養成講座



ボランティア
いちから講座



地域福祉
コーディネーター
養成講座



夏休み
福祉体験学習

多くの住民の皆さんが自分のこととして地域活動に参加され、人々が世代や分野を超えてつながる社会をめざす小田原市社会福祉協議会では、そのためのきっかけになれるように、多くの講座を開催しています。

今回は、その講座の一部と参加された皆さんをご紹介します。

車イスバスケットボール体験講座

小学生の福祉教育のお手伝いとして実施しています。学年などを単位に、小学校からのお申込みを受け、学校には講師派遣費用の一部もご負担いただきます。講師は湘南スポーツクラブの皆さんです。詳細は市社協ボランティアセンターにお問合せください。（☎ 35-4000）

人は人とつながって生きている

市立足柄小学校 上條先生

子どもたちは、見えていることだけで物事をとらえてしまいがちです。例えば、車イスを使っている様子を見て「大変そうだな」と思うしまうなどです。でも「その人の魅力」を感じながら、人とつながれるようになってほしいという思いがあり、総合学習としてこの講座をお願いしました。

講師をしていただいた湘南スポーツクラブの皆さんから、車イスバスケットの出会いのお話いただきましたが、共通していたのは「人とのつながり」でした。いろいろなことを乗り越え、自分らしく生きていくためには、人とつながることが必要だということを子どもたちも感じたことと思います。



市民後見人養成講座

&
一寸木 収 さん

人は社会のなかで
育てられ
成長する。

● 皆さんのお役にたちたい

定年を過ぎ、人生を振り返ってみると、大過なく家族で幸せに暮らせて、また良い人たちとの縁もあり、そのおかげで無事に生活してこれました。
今後自分らしく活動できるであろう残り10年余りは、これまで過ごしてきた小田原市、その市民の皆様にも少しでも役に立つのであればと思い受講しました。

● 大変だけれど、恩返しの思いで

成年後見制度について、学べば学ぶほど重要さを感じ、果たして自分にできるのかと自問自答する日々が続いています。
しかし、いろいろな人との出会いのおかげで今の自分があり、今まで幸せに過ごせてこれたことに対する恩返しの思いで、実習に励んでいます。

● 新たに民生委員児童委員としての活動も

成年後見制度の後見人等は家庭裁判所が決めることなので、自分自身が市民後見人として活動する将来像は、まだ見えていません。当面は実務実習を無事に修了し、小田原市の市民後見人候補者名簿に載ることを目標としています。先は長いですが、しっかり学び、必要とする人のお役に立てればと思っています。
また、今期から民生委員児童委員にも就任しました。今の地区には子どものころからずっと暮らしており、役員さんにはお世話になったので次は自分の番だと思って地区の活動も行っています。



実践研修で事例をもとに検証をする第1期生受講者



講座の内容

市民が地域で成年後見制度の後見人等として活動できるよう養成することを目的とした講座で、市民後見人候補者として登録されるまで、次のような研修などを受けています。

- ①基礎研修
- ②実践研修
- ③実務実習
- ④名簿登録
- ①成年後見制度の基礎を学びます。(全15講)
②基礎研修修了後、選考された人(第1期生の場合)が実践研修に進みます。(3カ月程度)
③修了後、後見業務の実務を経験します。(1年間程度)
④市への登録を希望し、かつ、選考委員会に選考された人が市民後見人候補者として登録されます。

※令和3年度から始めた講座で、第1期生の一寸木さん達は、現在③の実務実習を受けています。
令和5年3月現在、第2期生が基礎研修を学び終えたところで新規の研修募集はしておりません。

問い合わせ おたわら成年後見支援センター(市社協内)
☎ 35-7770

ボランティアいちから講座

&
加藤 絵津子 さん

地域の一員として
役に立てることが
できたら。

● 地域の一員として何ができるか

高校時代、留学していたアメリカで見ず知らずの私を家族や地域の一員として受け入れてくれた人々への感謝の想いから、将来何らかのかたちで人の役に立つことをしたいと思いました。
就職後は地元を離れていましたが、数年前に小田原に戻ってからは地域社会の一員として何ができるだろうかと考えるようになり、地域の人との関わりをを広げたいと思いました。
そうは思うものの、何から始めたらいいのかわからずに模索していたなかで出会ったのが、このチラシでした。「興味があるけど何から始めればいいのかかわからない」という言葉が私の心に刺さりました。

● 普段では気づけないことに気づけた講座

この講座は私よりも目上の人参加が多く、何歳になっても社会に貢献しようとか、新しいことを吸収しようという意欲が素敵で、良い刺激を受けました。
今までに触れる機会がなかった車イスを体験したこと、「相手を理解する、相手の立場で考える、配慮するという気持ちがあれば良く、難しく考えなくてもいいものなんだ」と、ボランティアに対するハードルが下がりました。

● 福祉分野の知識を深めるために

受講してみて知識の大切さも感じました。現在仕事と両立しながら社会福祉士の資格取得に向けて勉強中です。専門知識を身に付けて、地域のために役に立てることの幅を広げていけたらと思っています。



車イスでの市内散策もする「いちから講座」は箱根町社協との共催



今年度のチラシ

令和4年度ボランティアいちから講座

ボランティアに興味があるけど何から始めればいいのかかわからない。何も知らないけどボランティアってできるかな? 福祉ボランティアに興味がある方に向けて、「いちから」学ぶ講座です。福祉ボランティアのきっかけとして、話を聞いてみませんか? 申込お待ちしております。

内容	日程	内容	講師
1	11月4日(金) 13:30-15:30	「車イスについて」 実際に車イスを利用されている方のお話を聞き、さらに車イスの操作方法について学びます。	車イス利用者 神奈川県西部地区 リハビリテーション協議会
2	11月11日(金) 13:30-15:30	「車イス体験」 実際に車イスに乗り歩きを体験します。	神奈川県西部地区 リハビリテーション協議会
3	11月18日(金) 13:30-15:30	①「発達障がいについて」 発達障がいの特徴や関わり方について学びます。 ②「座談会」	神奈川県発達障害者 支援センター かながわA 社会福祉協議会職員

※会場: おたわら市民交流センター UMECO
問い合わせ 市社協ボランティアセンター
☎ 35-4000

地域福祉コーディネーター 養成研修会

&
藤森 真弓 さん

夫婦二人三脚で
健康を第一に
長い活動を。

● サロン開催に向けてのアドバイスを

夫婦で保育士資格を持っていたので、子どもたちのために何か活動をしたいと思っていました。
そんな矢先にコロナが流行り、外出先も限られたなかで親子が気分転換できるサロンを開こうと、自宅の環境をととのえるなどの準備をしていました。
ちょうどその頃、地区社協の会長さんから、この研修会を紹介され、子育てサロン開催に向けてのアドバイスもしていただけたらという思いで受講しました。

● 地域に対する思いを深めた研修会

研修では他地区の人たちとの交流もあり、地域活動に対する考え方を教わるなかで、地域の役に立ちたいという思いが強くなりました。

● サンちゃんのおうち

子育てサロン「サンちゃんのおうち」は「予約不要で気軽に参加できる」「家庭的な雰囲気のなかで子どもが自由に遊べる」と、ロコミで参加も増えてきました。
40年間保育士として働いてきた夫と一緒に、健康を第一に長く続けられたらと思っています。



多い日は6組の親子が訪れる「サンちゃんのおうち」



研修会では自分の地域の魅力と課題を考え話し合う場面も(写真は令和元年度開催のもの)

研修の内容

地域の人・活動・情報などのつなぎ役として、さらには地区社協活動の新たな担い手として活躍していただく人材を養成する研修です。

* 研修で学ぶこと *

- 1日目 地域の分析、課題の把握
- 2日目 地域でのネットワークづくり
- 3日目 地域での組織づくり

地区社協会長経由での受講申込となります。
平成20年度から始めた本研修の受講者は354人にのぼり、11地区でコーディネーター会も発足され、次のような活動につながっています。
●生活応援隊(ゴミ出しや草取りなどの生活支援サービス)の運営
●サロンなどの運営
●情報紙の作成

問い合わせ 市社協地域福祉係
☎ 35-4000

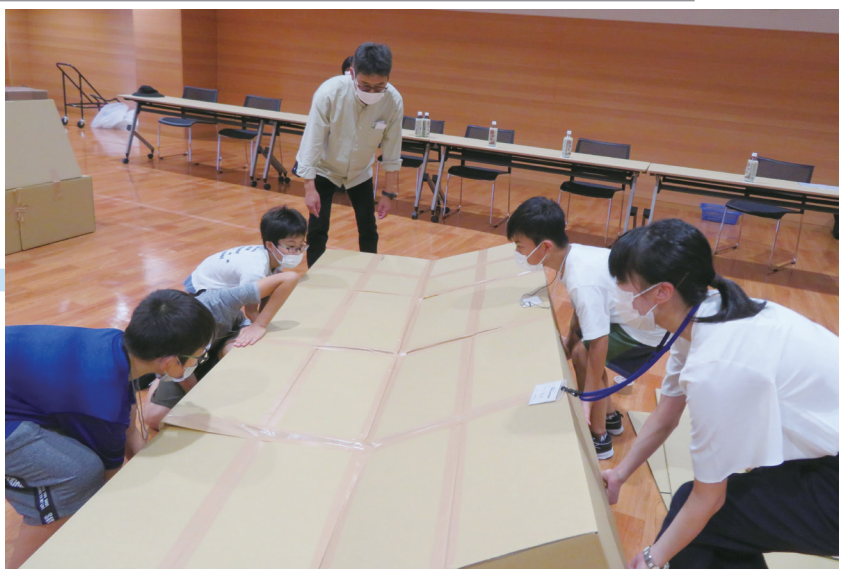
夏休み福祉体験学習

&
増田 裕斗 さん

災害がおきても
今回の体験を
活かしたい。

● ダンボールベッドを作ってみたい

学校で災害時の避難生活について学んだので興味がありました。
そんなときに、お母さんからダンボールベッドを作る体験学習があると聞いて参加しました。



みんなで協力して作るダンボールベッド

体験の内容

夏休みにいろいろな体験をして、福祉について考えてみる体験学習です。

* 令和4年度に実施した内容 *
こころのバリアをとりのぞく 「車イス体験&高齢者疑似体験」
目と目で伝え合い、学び合う 「手話体験講座」
災害時の避難生活を快適にするコツ 「ダンボールベッドを作ってみよう」

対象は小学5年生から大学生まで、お一人につき一つの体験をお選びいただけます。

問い合わせ 市社協ボランティアセンター
☎ 35-4000



増田さん親子

災害時
避難所で大活躍!

ツナ缶(シーチキン) ランプをきくろう!

1 ツナ缶(シーチキン) ランプの作りか
①Xマシで穴を空ける

2 ランプの芯を作るため
フィッシュを半分に裂く。
※糸は半分はオイルの穴を刺さるためには使います。

3 フィッシュをよりをとり
穴に差しこむ。
※1cmくらいよりを出す

4 芯を30分ほど煮てから油を捨て、
湯みたら火を止める
※この時、2443.80

用意するもの
<材料>
●ツナ缶 1個
●フィッシュ 1枚
●道具(穴を空けるもの)

増田さんが夏休みの自由研究で作成した「ツナ缶のランプ作り」

どうもありがとうございました

(令和4年11月1日～令和5年1月31日)

ボランティアセンター寄付金受付状況

お名前（敬称略）	金 額
神奈川土建一般労働組合西相支部	74,530 円
磯崎 昇	39,830 円
三菱ケミカル労働組合 神奈川支部	17,000 円
株式会社ユニバーサル技研	300,000 円
匿名（3 件）	13,000 円
合 計	443,360 円

ボランティアセンター寄付物品受付状況

お名前（敬称略）	品 物
小田原地区保護司会	ぬり絵、ノート
小田原市更生保護女性会	ぬり絵、雑巾
NPO 法人 報徳食品支援センター	食糧品
島野 慶子・山本 優子	洗剤
栗原 照子	車イス
高橋 則宏	紙パッド、ティッシュ
落合 優美	日用品、食糧品
三井住友銀行 小田原支店	マスク
市川 雅子	日用品、食糧品
曹洞宗 盛泰寺	お餅
かながわ西湘農業協同組合	タオル
窪田 和	座布団
日本交通横浜(株)小田原営業所	マスク
匿名（10 件）	人形、本棚、日用品 紙パッド、マスク、洗剤 玄米、米、上新粉、野菜 調味料、ランドセル タオル

市民福祉基金寄付金受付状況

お名前（敬称略）	金 額
下堀なな草会	24,205 円
柳平 実千代	4,800 円
	円
匿名（1 件）	1,000 円
合 計	29,005 円

交通遺児援護基金寄付金受付状況

お名前（敬称略）	金 額
崎村調理師専門学校	100,000 円
小田原スポーツ合気道教室	19,810 円
匿名（2 件）	101,000 円
合 計	219,810 円

各種寄付金品については、寄付者のご意向に沿い、目的にあった運用及び活用をさせていただいています。

福ちゃんの
知っておくと

いいね！



市社協からのご案内

1セット500円で

入園入学用の布製袋物をお分けします

お子さんの入園入学に必要な布製の袋物作りについて、地区のボランティアさんを中心にお声掛けをしたところ、50人ほどの人から製作や布地の提供にご協力いただきました。

できあがった袋物セットについては、母子寡婦福祉会や福祉施設などを通して、必要な人にお渡ししていますが、本紙をご覧の方に、その一部をお分けすることにしました。



- ①レッスンバッグ たて約30cm×よこ約40cm
- ②上履き入れ たて約28cm×よこ約21cm
- ③お着替え袋（巾着型） たて約36cm×よこ約30cm
上記3点で1セットです。

【お分けできる対象者】

「子どもの入園入学が決まったけれど、忙しくて作る時間がない」などの理由で3点セットの準備に困っている人
市内在住・在勤で小田原市社協まで受け取りに来られる人

【申込方法・注意事項など】

- 申 込 方 法 3月10日（金）までに電話でお申し込みください。
- お渡しする期間 3月17日（金）から
材料費として500円をお支払いください。
- お分けできる数に限りがあります。申込多数の場合は、本会で抽選を行い、当選者にご連絡します。
- すべて手づくりのため、3点セットの色柄は写真と異なります。



申込・問合せ ☎ 0465-35-4000
土日、祝日を除く
8:30～17:15

福祉用具販売・レンタル・住宅改修

東地区最多！
商品の展示、品揃え豊富
見て 体験して お選びください



TEL 0465-66-3300 FAX 0465-32-3560

営業時間 8:45～17:45 定休日 日曜・祝日
小田原市扇町3-14-21

秦野営業所／秦野市南矢名5-15-17 TEL.0463-86-6122



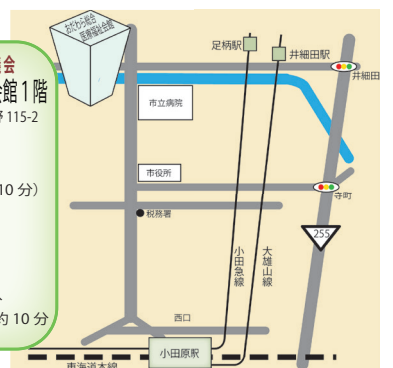
小田原市社会福祉協議会 TEL & FAX

- 法人全体
TEL 35-4000 FAX 35-6902
- 福祉まるごと相談事業
TEL 35-4020 FAX 35-6902
- おだわら成年後見支援センター
TEL 35-7770 FAX 35-7771
- ケアプラン作成
TEL 35-8170 FAX 32-4139
- ホームヘルパー派遣
TEL 35-8143 FAX 32-4139

小田原市社会福祉協議会
おだわら総合医療福祉会館1階
〒250-0055 小田原市久野115-2

交通アクセス

- バスご利用の場合
（小田原駅西口から約10分）
久野車庫行き又は
免河原循環に乗り
～市立病院前下車
- 徒歩の場合
小田原駅から約20分
足柄、井細田駅から約10分



小田原市で唯一

精神障がい・発達障がいの就労に特化した通所施設

就職

ひとりで悩んでいませんか？

- ✔ 仕事が続かない…
 - ✔ 体調に自信がない…
 - ✔ 自分にあう仕事がわからない
 - ✔ 障がい者手帳をまだ持っていない
- まずはご相談ください。
利用者の9割の方が無料でご利用いただいています。



生涯 働く「ちから」を。
就職後も長期にわたりサポート！



My Piece おだわら



☎ 0465-20-4640

受付:月～土曜日 9時～18時

就労移行支援事業所My Piece おだわら